

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回				
覧				

高等教育活性化シリーズ 364 (通算 695 回)

2018 年 3 月 29 日 (木)

アクティブ運用・異次元国際市場の行方――

## 財団・大学法人の資産運用～検証と深化

～ 先進事例の詳解/運用専門家とコンサルタントの〈対論〉～

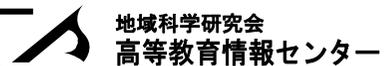
- ※ [笹川平和財団] なぜ外貨建て資産に～為替変動リスクとは/なぜ株式に投資できるのか
- ※ [X大学] 10年間・3回の世界危機に負けず/“成功”事例の運用・実績/唯一本当の要因
- ※ [対論] 外部金融機関との付き合い方/なぜ上場投資信託 (ETF) がコアなのか

### ● 講師陣 ●

豊田 貢 氏 / (公財) 笹川平和財団 経理部 特任調査役  
 梅本 洋一 氏 / インディペンデント・フィデュシヤリー (株) 代表取締役  
 法人資金運用・管理コンサルタント、非営利法人資金運用研究会事務局長  
 新井 洋子 氏 / ブロックロック・ジャパン (株) マルチアセット運用部 ディレクター

■ 企画協力 ■ 非営利法人資金運用研究会

2018 年 3 月 29 日 (木) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)



日時: 2018 年 3 月 29 日 (木) 10:00~16:50  
 会場: 剛堂会館ビル (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス: 東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
 徒歩 4 分、または JR 中央・総武線「四ツ谷駅」  
 麹町口より徒歩 10 分  
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので  
 必ずご確認ください。

参加費: A. ご一名 (資料・テキスト代込)  
 49,000 円 (消費税込)  
 B. メディア参加 (資料・テキスト・音声 CD 送付)  
 50,000 円 (送料、消費税込)  
 C. 非営利法人資金運用研究会員: 28,000 円  
 ※参加費の払い戻しは致しません。申込者の都合  
 が悪いときには代理の方がご出席ください。

☆ ご案内をパンフからメールにシフトしております。ご登録くださいませ。

申込方法: 参加申込書に所要事項を記入のうえ  
 FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法: 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660  
 口座名 <(株) 地域科学研究会 >  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。  
 申込先: 地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993  
 E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 URL: http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/

キリトリ線 (※参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研究会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 364

年 月 日

## 財団・大学法人の資産運用～検証と深化

当日参加  メディア参加  
 (□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者名 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

(書類宛名: \_\_\_\_\_)

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (  郵便振替  当日払い  銀行振込 ) 必要書類 [  請求書  見積書  領収書 ]

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:00 ～ 11:30	<p>I. 公益財団法人 笹川平和財団の資産運用  <span style="float: right;">笹川平和財団 豊田 貢</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 笹川平和財団(＝一般的な財団)の資産運用の特徴</li> <li>2. 笹川平和財団の資産運用の目標</li> <li>3. 笹川平和財団の資産運用の制約</li> <li>4. 物価上昇の影響</li> <li>5. 現在の投資行動</li> <li>6. なぜ外貨建て資産に投資できるのか?(為替変動リスクの考え方)</li> <li>7. なぜ株式に投資できるのか?</li> <li>8. なぜ、日本株と米国株だけなのか</li> <li>9. 今後の課題</li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
11:40 ～ 12:30	<p>II. [対論] 笹川平和財団の資産運用事例に学ぶ  <span style="float: right;">笹川平和財団 豊田 貢 インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公益法人と学校法人の資産運用の違いと類似点について</li> <li>2. 現在の運用スタイルに至った経緯は?</li> <li>3. 法人の会計、決算、その他の制約との整合性は?</li> <li>4. 運用管理体制はどのようなものか?</li> <li>5. 計画、執行、報告に関する手続きはどうしているか?</li> <li>6. 外部金融機関との付き合い方</li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:30 ～ 14:40	<p>III. 大学の資産運用の“成功”事例とその検証  <span style="float: right;">インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. X大学の資産運用事例             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) リーマンショック以前から約10年間の運用実績</li> <li>(2) 資産運用と管理の実際                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度運用計画の策定</li> <li>・投資方針書の策定</li> <li>・委員会・役員会への説明と了解</li> <li>・運用執行オペレーション(金融商品の選択、取引執行)</li> <li>・運用モニター、リスク管理</li> <li>・委員会・役員会への報告</li> <li>・約10年間で振り返って(リーマンショック、ギリシャ・ユーロ危機、東日本大震災)</li> <li>・今後の見通し</li> </ul> </li> </ol> </li> </ol>
14:50 ～ 16:00	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. X大学の資産運用と管理を支えるキーポイント             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) その背景にある金融理論/ロジック～なぜ、個別銘柄に投資しないのか?</li> <li>(2) 資産配分比率～運用収益、リスク、運用計画、管理業務はこれで決まる</li> <li>(3) 上場投資信託(ETF)～運用計画を再現する為のツール＝平均的な法人関係者が理解、管理できる範囲に運用内容とそのオペレーションを留める為に</li> <li>(4) 投資方針書～法人の資産運用の説明書、仕様書、引継ぎ資料として明文化</li> <li>(5) 長期的に一貫した資産運用を完遂する為のいくつかの工夫</li> <li>(6) 資産運用の最終的な結果を決定づける、唯一にして本当の要因</li> </ol> </li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
16:10 ～ 16:50	<p>IV. [対論] なぜ上場投資信託(ETF)がコアなのか  <span style="float: right;">ブロックロック・ジャパン 新井 洋子 インディペンデント・フィデュシャリー 梅本 洋一</span></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上場投資信託(ETF)とはどんな金融商品なのか</li> <li>2. ETF市場の急拡大とその背景</li> <li>3. 大学資産運用におけるETF活用の状況と今後の展望</li> </ol> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>

● 2017年12月新刊 <当日のテキストとして配布> ●

『新しい公益法人・一般法人の資産運用』

太田 達男(序)・梅本 洋一 著

A5判 298頁 定価 3000円+税

(公財)公益法人協会 刊

※ 協会アンケート2017を徹底分析

※ 新しい運用モデルとは

※ 具体的な運用事例と資料